

付加価値データを用いた中国の省間所得格差
—格差の分解と分配構造の変動—

Regional Income Disparity in China using a Value Added Data:
Decomposition and Distribution Dynamics

国際東アジア研究センター 坂本 博[◆]

要旨

本研究は中国の省間格差を付加価値分解して、その傾向と動向を考察するものである。中国の省 GRP は4つの付加価値に分解される。それは雇用者所得、資本減耗、税、営業余剰である。変動係数を用いてこれらの省間格差を計測し、GRP 格差への貢献度を計測した結果、いくつかの結果が得られた。1つは、雇用者所得、資本減耗の格差が上昇している反面、営業余剰、税の格差が減少傾向にある。その結果、変動係数がどの付加価値もほとんど同じような水準になってきている。次に、雇用者所得および、それとほかの付加価値間の格差の GRP 格差への貢献度が大きく伸びてきている。これらの結果から、中国の省間格差の要因が、営業余剰から雇用者所得へと移りつつあることが分かる。これは海外直接投資などにより高所得者が出現する一方で、農村部など低所得者層の所得の向上が緩やかであるという点に関連していると思われる。

次に、これら4つの分配構造を密度関数の推計によって明らかにした。この結果、時間が経つにつれて4つの付加価値共に省間で豊かな省と貧しい省との二極分化構造になっていることが分かる。これはマルコフ連鎖を用いた将来の収束分布の推計においても同様の結論が得られた。

JEL 分類 : C49, D39, O53

キーワード : 中国, 省間所得格差, 付加価値データ, 格差の分解, 所得分配構造の変動

[◆] 803-0814, 北九州市小倉北区大手町 11-4, sakamoto@icsead.or.jp